

(4) たけのこ工場ではたらく人びとの仕事

三島村にはたくさんのたけのこが生えます。このたけのこは、「大名たけのこ」とよばれ、やわらかくて味がよく、鹿児島県内だけでなく県外でも売られています。

たけのこがとれるのは、5月の末から6月の末までです。とったたけのこは、たけのこ工場へ運ばれます。工場では、^{きかい}機械も使われていますが、人の手でしなければならないところもたくさんあり、島の人たちが交代ではたらいっています。たけのこは、島の人たちや村にとって大切な^{しゅうにゆう}収入げんです。



工場の仕事の順番はどうなっているのかな。



【たけのこ工場のようにす】



- ・ はたらく人たちのくふうや大変なことはなんだろう。(たけのこをとる人・工場ではたらく人)
- ・ 工場にはどのような機械が使われているだろう。

【たけのこ工場の仕事の順番】



竹林からしゅうかくしたたけのこを運ぶ。



長さを大まかにそろえる。



箱のサイズに合わせて切る。



太さや大きさを分ける。



どんなことに気をつけているのかな。



しゅっか
出荷する。
(フェリーで
鹿児島市へ)

重さをはかってはこにつめる。